

	⑬サービス利用（相談の利用を含む） ⑭家族や支援者の理解 ⑮身体機能・体力の回復・改善 ⑯精神機能の回復・改善 ⑰聞いていないので分からない ⑱その他（ ）
(3) 計画は退院をイメージしたものになっているか	・はい ・いいえ ・退院予定がないためイメージしていない ・わからない ・その他（ ）
(4) 計画作成にあたってアセスメントしている項目	①基本的動作能力 ②応用的動作能力 ③社会適応能力 ④家族や地域の関わり、理解などの人的環境 ⑤医療保健福祉や社会参加、就労に関するサービスなどの物理的環境 ⑥病状の悪化要因 ⑦その他（ ）
(5) プログラム内容 ※ 行うことが多い順に5つまで別添の一覧より選択してください	1 番目に多い（ ） 2 番目に多い（ ） 3 番目に多い（ ） 4 番目に多い（ ） 5 番目に多い（ ）
3. 支援方針の決定と同意について	
(1) 医師をはじめ、チームでの支援方針に関するカンファレンス（ミーティング）の有無と参加	①施設でのカンファレンスの有無 ・すべての患者に対して開催されている ・一部の患者に対して開催されている ・開催されていない ・その他（ ） ・施設としての開催状況は不明 ②作業療法士の参加 ・すべてに参加している ・一部の対象者のカンファレンスに参加している ・参加していない ・カンファレンスそのものが開催されていない ・その他（ ）
(2) 精神科作業療法計画の合意につ	・計画を立案した対象者全員に、内容をひとつおとり説明し合意を

<p>いて、該当するものを選択</p>	<p>とっている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者用に簡易化した書類を別途作成し、説明、合意を得ている ・対象者の精神機能が著しく低下しており、説明をしても合意が得られないことが予測されるため、取っていない ・対象者の精神機能が著しく低下しており、説明をしても合意が得られないことが予測されるため、家族に説明し合意をとっている ・対象者に説明し、合意をとることを考えたことがない ・よくわからない ・その他 ()
<p>(3) 作業療法計画の医師への報告</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・書面にて報告（電子カルテを含む）、サインをもらっている ・書面にて報告（電子カルテを含む）しているがサインまではもらっていない ・すべて口頭（カンファレンスを含む）で報告している ・必要な対象者のみ口頭（カンファレンスを含む）で報告している ・聞かれることがないので、報告していない ・報告の必要性を感じない ・その他 ()
<p>4. 計画作成における課題</p>	
<p>(1) 精神科作業療法計画の作成が義務付けられた場合、課題となることはありますか ※ 複数選択</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特にない ・面接や評価をする時間がとれない ・計画作成のための書類作成が負担 ・計画作成のための時間がとれない ・計画が必要な患者が少ない ・計画作成の方法がわからない ・患者の理解が得られるかどうかわからない ・その他 ()
<p>(2) 精神科作業療法計画作成の現状での課題 ※ 自由記載</p>	

<p>C. 退院支援・地域移行</p>	
<p>1. 退院後の支援機関との連携</p>	
<p>(1) 退院後の支援機関と作業療法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・退院時カンファレンスに参加している

<p>士の連携状況</p> <p>※ 複数選択可</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 退院後の申し送りを連携先に送付している ・ 退院先に退院前訪問を実施し、連携している ・ 退院後にサービス利用先（就労を含む）に訪問し、連携している ・ 電話等で連絡している ・ 特に連携していない →(3)を回答してください ・ その他（ ）
<p>(2) これまでに連携したことの ある機関等</p> <p>※ 過去1年で連携したところを 全て選択</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 退院後に担当する医療機関（クリニックや訪問看護） ・ グループホーム等自宅以外の住まいの場 ・ 就労系サービス事業所（就労移行、就労継続A、B） ・ 就労支援機関（ハローワークや障害者職業センター等） ・ 生活訓練、地域活動支援センター等障害福祉サービスにおける 日中活動の場 ・ 介護保険サービス事業所 ・ 学校 ・ 会社等対象者の勤務先 ・ 市役所や町役場など行政の窓口 ・ 民生委員や地域の自治会 ・ その他（ ）
<p>(1)で特に連携していないと答え た方へ、連携の必要性を感じてい ますか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連携する必要性を感じない ・ どこと連携すればよいかわからないため、連携していない ・ 連携の必要性は感じるが、連携の会議に参加要請がない ・ 連携の必要性は感じるが、作業療法の時間と重なり参加できない ・ わからない
<h2>2. 退院前支援</h2>	
<p>(1) 貴施設では退院に向けた訪問 を実施していますか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施している ・ 実施していない →3.へ
<p>(2) 退院前の訪問に作業療法士は 関与していますか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関与している ・ 関与していない →(11)を回答してください
<p>(3) 算定について該当するものを 選択してください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 精神科退院前訪問指導料として算定 ・ (専用施設外で行う)精神科作業療法として算定 ・ 状況により上2つのどちらかで算定 ・ 特に算定していない ・ その他（ ）
<p>(4) 退院前訪問の実施時期</p> <p>※ 複数選択可</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 退院の方向性が決まった直後 ・ 退院1か月前 ・ 退院直前（1週間前～前日）

	<ul style="list-style-type: none"> ・退院時 ・その他 ()
<p>(5) 対象者 1 人につき訪問する回数</p> <p>※ 2020 年 3~5 月の 3 ヶ月間の実績の平均</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 回 ・ 2 回 ・ 3 回 ・ 4 回 ・ 5 回 ・ 6 回 ・ 7 回以上
<p>(6) 主な訪問先</p> <p>※ 複数選択可</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅 ・ グループホーム等自宅以外の住まいの場 ・ 就労系サービス事業所（就労移行、就労継続 A、B） ・ 就労支援機関（ハローワークや障害者職業センター等） ・ 生活訓練、地域活動支援センター等障害福祉サービスにおける日中活動の場 ・ 学校 ・ 会社等対象者の勤務先 ・ 市役所や町役場など行政の窓口 ・ その他 ()
<p>(7) 作業療法士による退院前訪問の目的</p> <p>※ 多い順に 5 つまで選択</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①健康管理（服薬管理、疾病・障害の理解と対応を含む） ②歩行・移動 ③入浴・更衣・排せつなどの ADL 動作・行為 ④調理 ⑤調理以外の家事 ⑥金銭管理（経済的活動の管理） ⑦交通機関の利用 ⑧コミュニケーション ⑨対人関係 ⑩日課の遂行 ⑪趣味や社会活動 ⑫仕事 ⑬サービス利用（相談の利用を含む） ⑭家族や支援者の理解 ⑮身体機能・体力の回復・改善 ⑯精神機能の回復・改善 ⑰家族・支援者への指導（本人の能力や特性、嗜好、関わり方など） ⑱その他 ()

<p>(8) 作業療法士による退院前訪問での実施内容 ※ 複数回答</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境等評価 ・具体的生活指導・練習 ・環境調整 ・支援者への能力情報の提供と関わり方の助言指導 ・その他 ()
<p>(9) 退院前訪問の指導・連携対象者 ※ 複数回答</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本人のみ ・クリニックや訪問看護など医療機関の職員 ・家族 ・グループホームなど住まいの場の職員 ・就労系サービス事業所、就労支援機関、障害福祉サービスの職員 ・学校教員 ・対象者の勤務先の上司や同僚 ・相談支援専門員 ・保健師など行政の職員 ・その他 ()
<p>(10) 退院前訪問を実施する際の課題 ※ 自由記載</p>	
<p>(11) 退院前訪問をしていない理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作業療法士が訪問する必要性を感じない ・訪問の必要性は感じるが、退院の計画に作業療法士による訪問が入らない ・訪問の必要性は感じるが、精神科作業療法等院内業務が優先される ・わからない ・その他 ()
<p>3. 退院後支援</p>	
<p>(1) 退院後訪問への作業療法士の関わり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あり <ul style="list-style-type: none"> → ・精神科訪問看護で算定 ・在宅訪問リハビリテーション指導管理料で算定 ・報酬を算定していないが訪問している ・なし →(11)へ
<p>(2) 訪問への対応者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問専従の担当作業療法士 ・訪問専任の担当作業療法士 ・特に専従・専任はなく、入院中の担当作業療法士が訪問

	<ul style="list-style-type: none"> ⑨対人関係 ⑩日課の遂行 ⑪趣味や社会活動 ⑫仕事 ⑬サービス利用（相談の利用を含む） ⑭家族や支援者の理解 ⑮身体機能・体力の回復・改善 ⑯精神機能の回復・改善 ⑰その他（ ）
<p>(9) 退院後訪問の指導・連携対象者</p> <p>※ 複数回答</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本人のみ ・ 家族 ・ グループホームの職員 ・ 就労系サービス事業所、就労支援機関、障害福祉サービスの職員 ・ 学校教員 ・ 対象者の勤務先の上司や同僚 ・ 相談支援専門員 ・ その他（ ）
<p>(10) 作業療法士による退院後訪問の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境等評価 ・ 具体的生活指導・練習 ・ 環境調整 ・ 支援者への能力情報の提供と関わり方の助言指導 ・ 作業指導 ・ 身体機能訓練 ・ 服薬管理 ・ その他（ ）
<p>(11) 退院後訪問を実施する際の課題</p> <p>※ 訪問を行なっている場合は行いづら理由を、行なっていない場合はその理由を選択</p> <p>※ 複数選択可</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問看護として訪問するには抵抗がある ・ 作業療法士として訪問することが評価されていない ・ 訪問の必要性は感じるが、医師の理解が得られない ・ 訪問の必要性は感じるが、作業療法部門で理解が得られない ・ 訪問の必要性は感じるが、院内業務で時間がとれない ・ その他（ ）

D. 外来	
<p>(1) 外来作業療法の実施の有無</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施している ・ 実施していない → E. へ ・ その他（ ）
<p>(2) 外来作業療法の専用スペース</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専用スペースを設けている

<p>を設けているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・専用スペースはなく、入院患者と一緒に実施している ・その他 ()
<p>(3) 外来作業療法の指示が出ている対象者の年齢 ※ 2020年6月1日時点での実人数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・10歳以下 () 名 ・10～20歳 () 名 ・21～30歳 () 名 ・31～40歳 () 名 ・41～50歳 () 名 ・51～60歳 () 名 ・61歳以上 () 名
<p>(4) デイケアがある場合、デイケアではなく外来作業療法の対象となる理由 ※ 複数選択</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2時間の訓練を希望するため ・デイケアは長期利用者の通いの場になっているため ・就労予定(目標)など短期間の利用が見込まれるため ・生活課題の解決や訓練など明確な目標があり作業療法での改善が見込まれるため ・頻度が週1回未満であるため ・本人がデイケアを拒否したため ・その他 ()
<p>(5) 外来作業療法の目的 ※ 多い順に5つまで選択</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・退院後生活の定着、もしくは就労につながるまでの生活リズムの維持 ・作業療法士によるマネジメントによる社会参加に向けた計画的支援 ・対象者が入院経験のない初発または病状が安定しており入院を必要としないが、医師の診察だけでは解決困難な課題(疾病教育や家族へのアプローチなど)への対応 ・就労等社会資源の利用など明確な支援目標に対し、能力評価や基本的な能力の獲得 ・セルフヘルプグループなど患者間の体験交換の支援 ・コミュニケーションや対人関係の改善 ・その他 ()
<p>(6) 外来作業療法のニーズ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外来作業療法のニーズが増えてきている → 理由として考えられるもの () ・外来作業療法はあくまでもデイケアの補完的機能であるため、ニーズに変化はない ・外来作業療法へのニーズは特にない ・わからない ・その他 ()

F. 精神科作業療法に関する意識	
<p>1. 精神科作業療法の位置づけは何だと考えますか</p> <p>※ 貴施設での作業療法の役割について最も当てはまるものをひとつ選択</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医師が処方する非薬物療法としての治療のひとつ ・ 精神患者のケア方法のひとつ ・ 社会参加に向けての相談支援機能のひとつ ・ 園芸療法、音楽療法など各種療法のうちのひとつ ・ 長期入院患者の入院生活における気晴らしのひとつ ・ その他 ()
<p>2. 精神科作業療法と一般科の作業療法は異なるものだと考えますか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 異なると考える ・ 同じと考える ・ よくわからない ・ その他 ()
<p>3. 精神科作業療法の機能が発揮できるためには何が必要と考えますか</p> <p>※ 最も当てはまるものから順に3つまで選択</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 精神科作業療法計画立案のための研修会 ・ 臨床体験型の研修 ・ 最新の医学知識 ・ 多職種協働方法の研修会 ・ 養成課程でのより充実した精神科に関する教育 ・ 医師の理解 ・ 看護師などコメディカルの理解 ・ 発達や身体障害に対する作業療法全体の治療方法の理解 ・ その他 ()

G. 令和2年度診療報酬改定の影響および次期改定への要望	
<p>1. 今回の改定で、精神療養病棟の入院患者に疾患別リハビリテーション料の算定が可能となりましたが、貴院の状況について教えてください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 疾患別リハビリテーション料の算定を開始した ・ 算定したいが、疾患別リハビリテーションの医師要件が満たせず取り組めない ・ 算定したいが、専用スペースなどの施設基準を満たすことができない ・ 算定したいが、対応する療法士がない ・ 改定内容を知らない ・ 精神療養病棟がないため対象外 ・ その他 ()
<p>2. 今回の改定で、退院時に包括的支援マネジメントを活用する「精神科退院時共同指導料」が新設されましたが、作業療法士として多職種チームへの参画状況について教えてください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多職種チームに参画している ・ 今後、多職種チームに参画予定 ・ 多職種チームに参画したいが、カンファレンス等に参加する時間が作業療法の時間と重なり、参加できない ・ 多職種チームに参画したいが、作業療法部門に声がかからない ・ 病院として精神科退院時共同指導料の算定は予定されていない

い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院としての対応が分からない ・ 改定内容を知らない ・ その他 ()
3. 次期改定に向けての要望事項等	

<p>2019 年度に協会は「精神障害にも対応する地域包括ケアシステムに寄与する作業療法のあり方検討委員会」を開催し、精神科作業療法の今後のあり方を検討してきました。検討会の結果として、報告書を取りまとめ、3月に会員向けに、協会ホームページおよび都道府県士会を通して、パブリックコメントを募集しました。報告書について、該当するものを選択してください。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 検討会を開催していることを知らなかった ・ 検討会を開催していることは知っていたが、報告書のパブリックコメントを募集していたことは知らなかった ・ 報告書を読んだ ・ 興味がない ・ その他 () 	

<p>日本作業療法士協会制度対策部では、「訪問での作業療法実践」「精神科作業療法計画に基づいた実践」に関して、介入事例のデータ提供にご協力いただける施設を求めています。ご協力いただける場合は施設名とご連絡先を教えてください。</p>	
協力可能な項目	<p>いずれも1事例につき、計画立案時・効果測定時（3ヶ月後または6ヶ月後）の2回データ提供、1施設あたり3～5事例の提供をお願いしたいと考えています。</p> <p><input type="checkbox"/> 訪問での作業療法実践</p> <p><input type="checkbox"/> 精神科作業療法計画に基づいた実践</p>
施設名	
担当者名	
メールアドレス	

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。